BS9R65G2-0902

セイコーウオッチ株式会社

本　社　〒105-8467　東京都港区芝浦１－２－１
http://www.seiko-watch.co.jp/

Grand Seiko

SPRING DRIVE

9R65
取扱説明書
INSTRUCTIONS

SEIKO

Grand Seiko

SPRING DRIVE

9R65
取扱説明書
INSTRUCTIONS

目　次

■製品の特長 …… 5
■製品取扱上のご注意 …… 6
■各部の名称と主なはたらき …… 8
基本部分について …… 8
りゅうずについて …… 9
ねじロック式りゅうずについて …… 10
■ぜんまいの巻き上げについて …… 11
巻き上げのめやす …… 11
りゅうずを使ったぜんまいの巻き上げかた …… 12
■パワーリザーブ表示について …… 13
パワーリザーブ表示の見かた …… 14
■日付・時刻を合わせるには …… 15
日付・時刻の合わせかた …… 15
月末の日付修正について …… 19
より正確に時刻を合わせるために …… 21

■使用上の注意とお手入れのしかた …… 22
性能と型式について …… 23
防水性能について …… 24
耐磁性能について（磁気の影響） …… 28
時計に影響を及ぼす身のまわりの磁気製品 …… 29
バンドについて …… 30
ルミブライトについて …… 32
■アフターサービスについて …… 33
補修用性能部品について …… 34
分解掃除による点検調整（オーバーホール）について …… 35
■こんなときは …… 36
■製品仕様 …… 40

このたびはグランドセイコーをお買い上げいただき、ありがとうございました。SEIKO では、時計づくり 100 有余年の伝統と、世界に誇る先進技術のすべてを注ぎ、製造・検査を実施しております。グランドセイコーの優れた性能を保つために、この取扱説明書をよくお読みの上、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書はお手もとに保管していただき、必要に応じてご覧ください。

※ お買い求めの際の金属バンドの調整は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

■製品の特長

ぜんまいがほどける力を唯一の動力源としながら、クオーツ時計と同等の高精度を実現したスプリングドライブは、セイコー独自の機構です。ぜんまいの巻き上げは、自然な腕の動きで巻き上がる自動巻機構にくわえて、始動時の巻き上げに便利な手巻機構をそなえています。持続時間は、ぜんまいを十分に巻き上げた状態で約７２時間（約３日間）、ぜんまいの巻き上げ状態（残量）がわかるパワーリザーブ表示が付いています。秒針は完全になめらかな動きをするスイープ運針です。

※ スプリングドライブ機構の詳細については、別冊の「スプリングドライブ・ハンドブック」をお読みください。

※ スプリングドライブはぜんまいの力で動きます。パワーリザーブ表示を確認しながら、十分に巻き上げてご使用ください。⇒　■パワーリザーブ表示について P.13

■製品取扱上のご注意

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・次のような場合、ご使用を中止してください
　○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
　○バンドのピンが飛び出してきた場合

・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
　部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
　万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

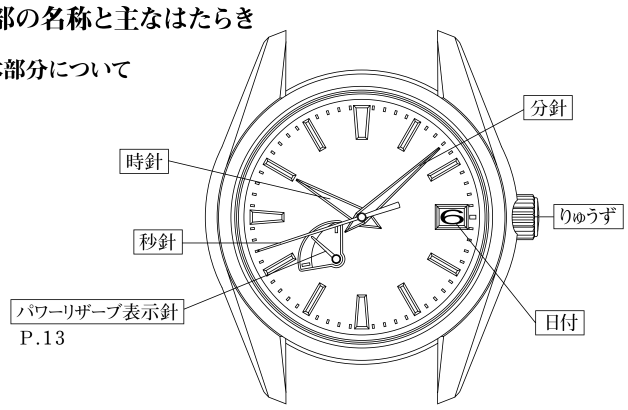
・以下の場所での携帯・保管は避けてください
　○揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
　○5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ　　○高湿度なところ
　○磁気や静電気の影響があるところ
　○ホコリの多いところ
　○強い振動のあるところ

・アレルギーやかぶれを起こした場合
　ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・その他のご注意
　○商品の分解・改造はしないでください。
　○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
　　ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

■各部の名称と主なはたらき

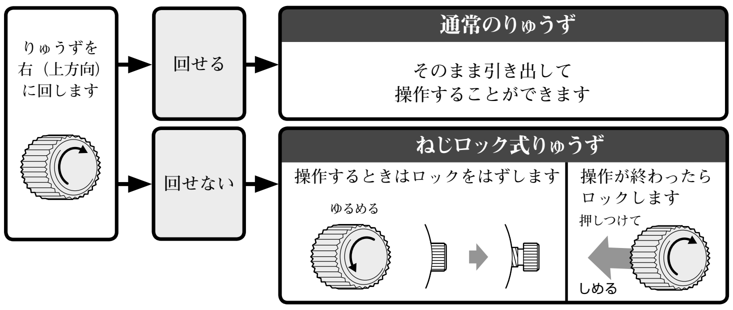
●基本部分について



※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。
※りゅうずは、ねじロック式のモデルがあります。
⇒　■ねじロック式りゅうずについて　P.10 参照

■りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2 つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



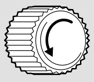
※　■ねじロック式りゅうずについて　P.10 参照

●ねじロック式りゅうずについて

誤操作の防止のために、使わないときにりゅうずをねじでロックできる構造です。
※ ねじロック式のりゅうずを操作をする場合は、ロックをはずしてください。
※ 誤操作を防ぐために、操作しないときは必ずロックをしておいてください。

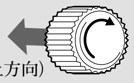
ロックのはずしかた

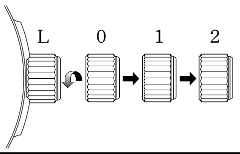
りゅうずを左（下方向）に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。



ロックのしかた

りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら右（上方向）に止まるところまで回してください。





L ：ねじロック位置
0 ：ねじロック解除位置（0段目）
　　ぜんまい巻き上げ（手巻）
1 ：1 段目　日付合わせ
2 ：2 段目　時刻合わせ

⚠注意

ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながら回してください。
無理に押し込むと、ねじ部（ケース）を壊す恐れがありますのでご注意ください。

■ぜんまいの巻き上げについて

この時計は自動巻式（手巻つき）です。腕に着けてご使用いただくと、
自然な腕の動きでぜんまいが自動的に巻き上がります。

※ 巻き上げの状態は、パワーリザーブ表示を確認してください。
⇒　■パワーリザーブ表示について　P.13

※ 止まっている時計を駆動させるときは、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げることをおすすめします。

●巻き上げのめやす

自動巻：1日あたり12時間の携帯で、連続して3～5日間使用すると、
　　　　フル巻き上げの状態になると想定しています。

手巻：りゅうずを5回転させると、約10時間ぶん駆動させることができます。

⚠注意

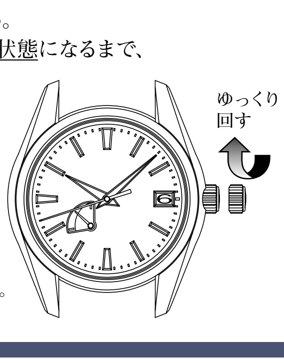
この時計のぜんまいは、必要以上に巻き上がらない構造になっています。
フル巻き上げの状態から更にりゅうずを回しても、ぜんまいはそれ以上巻き上がりません。
りゅうずを回し続けても時計が壊れることはありませんが、無理な操作はお控えください。

●りゅうずを使ったぜんまいの巻き上げかた

1．ねじロック式りゅうずの場合は、ロックをはずしてください。
⇒　●ねじロック式りゅうずについて　P.10

2．りゅうずを押し付けないように注意しながら、
右（上方向）にゆっくり回してください。
パワーリザーブ表示がフル巻き上げの状態になるまで、
ぜんまいを巻き上げてください。
秒針が動きはじめます。
⇒　●パワーリザーブ表示の見かた　P.14

3．操作が終わったら、
ねじロック式りゅうずの場合は、
りゅうずをロックしてください。

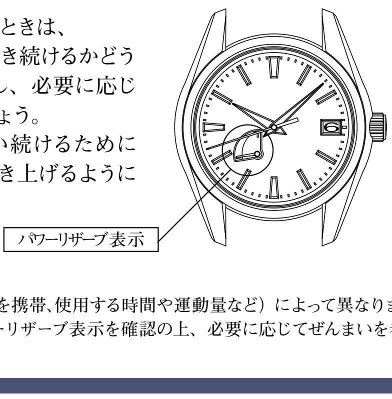


巻き上げに続いて、時刻や日付を合わせるときは、
りゅうずをロックせずに、そのまま操作してください。
⇒　●日付・時刻を合わせるには　P.15

■パワーリザーブ表示について

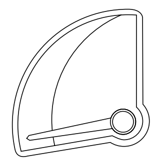
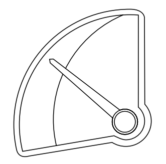
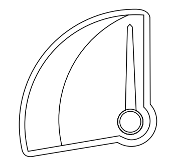
パワーリザーブ表示で、ぜんまいの巻き上げ状態（残量）の
めやすが確認できます。

時計を腕からはずして置いておくときは、
次に使用（携帯）するときまで動き続けるかどう
かをパワーリザーブ表示で確認し、必要に応じ
てぜんまいを巻き上げておきましょう。
（時計を止めないようにして使い続けるために
は、余裕を持った時間ぶんを巻き上げるように
しましょう。）



※ 持続時間はお客様の使用状況（時計を携帯、使用する時間や運動量など）によって異なります。
※ 1日の使用時間が短いときは、パワーリザーブ表示を確認の上、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。

●パワーリザーブ表示の見かた

パワーリザーブの状態			
ぜんまいの状態	フル巻き上げ	半分程度	巻き上げなし
持続時間	約７２時間 （約３日間）	約３６時間 （約１日半）	時計が止まっている または 止まる直前の状態

※ 低温下（0℃以下）では、パワーリザーブ表示が1／6以上の状態でご使用ください。

■日付・時刻を合わせるには

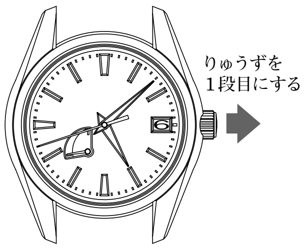
●日付・時刻の合わせかた

1．ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
※ 日付・時刻を合わせるときは、必ず時計が動いている状態で行ってください。

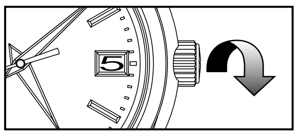
2．ねじロック式りゅうずの場合は、ロックをはずしてください。
⇒　●ねじロック式りゅうずについて　P.10

3．時計の針が午後9時～午前1時の間を示しているときは、りゅうずを2段目まで引き出し、りゅうずを左（下方向）に回して、一旦時刻を午前1時よりも進めておきます。
※ 日付を回す歯車を、きちんとかみ合わせるための動作です。
※ 時針を2周させるごとに、日付が「１日ぶん」修正されます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせましょう。

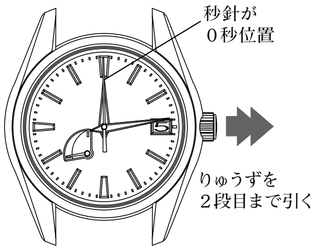
4．りゅうずを1段目の位置に動かしてください。
（秒針は動き続けています。）



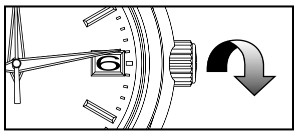
5．りゅうずを左（下方向）に回して日付を前日に合わせます。
※ りゅうずを右（上方向）に回しても日付は動きません。


例：合わせたい日付が「6日」のときは、「5日」に合わせます。

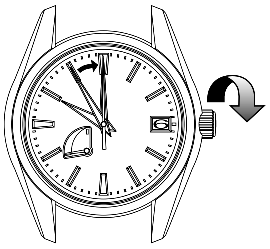
6．秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを2段目まで引き出し、秒針を止めます



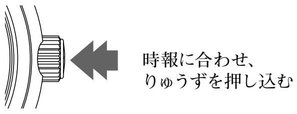
7．時計回りに針が進むように、左（下方向）にりゅうずを回して、合わせたい日付になるまで、時刻を進めてください。
※ りゅうずを回すときは、時針の１時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。



8．次に時刻を合わせます。
合わせたい時刻の手前から、分針をゆっくり進めて合わせてください。
※ 時針を2周させるごとに、日付が「１日ぶん」修正されます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。
午前・午後を確認して合わせましょう。



9．時報などに合わせて、りゅうずを押し込みます。
これで操作は完了です。
ねじロック式りゅうずの場合は、ロックしてください。
⇒　●ねじロック式りゅうずについて　P.10



●月末の日付修正について

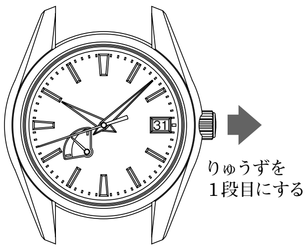
この時計の日付表示は、１日～３１日となっています。小の月（２、４、６、９、１１月）が終わった翌日などに、日付合わせを行ってください。

1．ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
※ 日付・時刻を合わせるときは、必ず時計が動いている状態で行ってください。

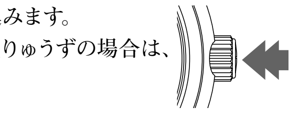
2．ねじロック式りゅうずの場合は、ロックをはずしてください。
⇒　●ねじロック式りゅうずについて　P.10

3．時計の針が午後9時～午前1時の間を示しているときは、りゅうずを2段目まで引き出し、りゅうずを左（下方向）に回して、一旦時刻を午前1時よりも進めておきます。
※ 日付を回す歯車を、きちんとかみ合わせるための動作です。
※ 時針を2周させるごとに、日付が「１日ぶん」修正されます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせましょう。

4．りゅうずを1段目の位置に動かしてください。
（秒針は動き続けています。）



5．りゅうずを左（下方向）に回して日付を合わせます。
※ りゅうずを右（上方向）に回しても日付は動きません。



6．操作が終わったら、りゅうずを押し込みます。
これで操作は完了です。ねじロック式りゅうずの場合は、ロックしてください。
⇒　●ねじロック式りゅうずについて　P.10

●より正確に時刻を合わせるために

スプリングドライブ機構の構造上、下記の点に注意しながら操作していただくとより正確に時刻が合わせられます。

・ 時刻を合わせる前に、ぜんまいを十分に巻き上げてください。
（パワーリザーブ表示を見て、フル巻き上げの状態にしましょう。）

・ 止まっている時計を駆動させるときは、ぜんまいを十分に巻き上げてください。その後、時刻を合わせるときは、３０秒間ほど秒針が動いてから、りゅうずを2段目に引き出してください。

・ りゅうずを2段目まで引き出すと秒針が止まりますが、秒針を止めている時間は３０分以内にしてください。それ以上の時間りゅうずを引き出していたときは、一旦りゅうずを押し込み、３０秒間ほど秒針が動いてから時刻合わせを行ってください。

22

■使用上の注意とお手入れのしかた

日ごろからこまめにお手入れしてください

・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
　すきま（金属バンド、りゅうず、裏ぶた、回転ベゼルなどの周囲）の汚れは、
　柔らかい歯ブラシが有効です。

・海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。

りゅうずは時々回してください

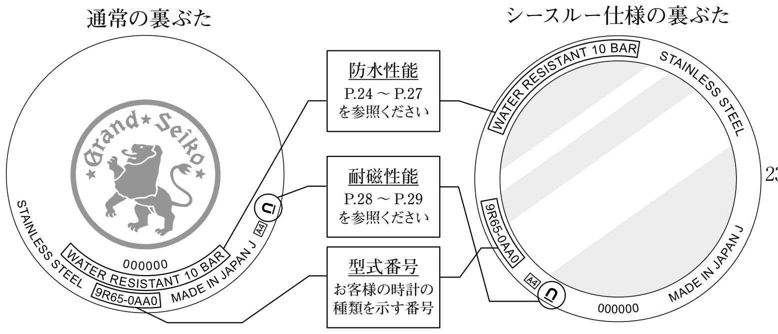
・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。

・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
⇒　●ねじロック式りゅうずについて　P.10

23

●性能と型式について

時計の裏ぶたでも、性能と型式の確認ができます。



※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

24

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。
（「P.23」をご覧ください）

裏ぶた表示	防水性能
表示なし	非防水です。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。
WATER RESISTANT 10（20）BAR	日常生活用強化防水で 10（20）気圧防水です。

25

お取扱方法	
水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。	
日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。	⚠ 警告　水泳には使用しないでください。
水泳などのスポーツに使用できます。	
空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。	

26

⚠警告

この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠注意

水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
　お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談室（巻末に記載）にご相談ください。

27

⚠注意

水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や
ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。

入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。

直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の
時計でも防水不良になる恐れがあります。

28

●耐磁性能について（磁気の影響）

・グランドセイコーのスプリングドライブは、JIS 1種の耐磁水準をクリアしています。日常生活において磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性能を備えておりますが、強い磁界に遭遇するとムーブメント部品が磁気を帯びてしまい、精度が狂ってしまうことがあります。身のまわりの強い磁界を発生する機器の5cm 以内に近づけないようご注意ください。

JIS 耐磁時計種類	耐磁性保証水準	耐磁表示（裏ぶた）	耐磁性
1種	4800A/m	∩	日常生活において磁界を発生する機器に 5cm まで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性水準

・なお、磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲（平均月差± 15 秒）を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

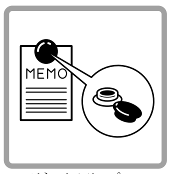
⚠注意

磁気製品より、5cm以上遠ざけてご使用ください。

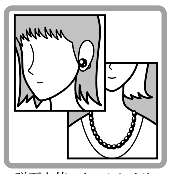
29

●時計に影響を及ぼす身のまわりの磁気製品

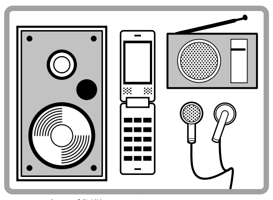
・身のまわりには、このように磁気を発するものがあります。



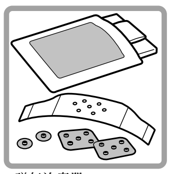
・マグネットクリップ



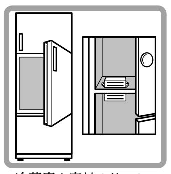
・磁石を使ったアクセサリー



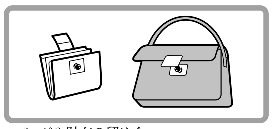
・オーディオ機器、ラジオ、イヤホン、
携帯電話などのスピーカー



・磁気治療器
（シップ、寝具、腰痛バンドなど）



・冷蔵庫や家具のドアの
マグネット



・バッグや財布の留め金

●バンドについて

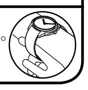
バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ･そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- お手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
- チタンバンドでもピン類に強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留がはずれなくなることがあります。
- 万が一ピンが飛び出している場合は、怪我をする恐れがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド

- 水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- 時計本体が日常生活用強化防水（10 気圧防水）になっているものでも、皮革バンドは、入浴中や水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

●ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。太陽光や照明のあかりを短時間（約 10 分間：500 ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約 3 時間～ 5 時間）光を放つ夜光です。
なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つにしたがって、だんだん弱まっていきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや、時計との距離、光の吸収度合いにより、光を放つ時間には多少の誤差が生じることがあります。

＜照度のめやすについて＞

環　境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000ルクス
	くもり	10,000ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000ルクス以上
	くもり	1,000～ 3,000ルクス
	雨	1,000ルクス以下
照明（白色蛍光灯 40Wの下で）	1m	1,000ルクス
	3m	500ルクス（通常室内レベル）
	4m	250ルクス

■アフターサービスについて

- お買い求めいただきましたグランドセイコーは、厳重な検査・調整を行った後、お手もとにお届けしております。しかし、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で、万が一、保証期間内に不具合が生じた場合には、保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。メーカーにて無料で修理･調整させていただきます。
- 保証期間、保証内容の詳細については、保証書に記載してあります。
- 保証期間経過後の修理、およびグランドセイコーについてのご相談は、お買い上げ店で承っております。その他わからない点がございましたら、下記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。

セイコーウオッチ（株）お客様相談室
グランドセイコー専用フリーダイヤル　0120 － 302 － 617
受付時間：月曜～金曜　9:30 ～ 21:00
土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 17:30

●補修用性能部品について

- グランドセイコーの補修用性能部品の保有期間は、通常 10 年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理が可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに必要な修理用部品です。）
- 修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なります。精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
- その他わからない点がございましたら、左記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。

●分解掃除による点検調整（オーバーホール）について

- この時計の点検、および分解掃除はメーカーにて行います。お買い上げ店には、メーカーへ依頼するようお申しつけください。
- 長くご愛用いただくために、３～４年に１回程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。

※この時計のムーブメントは、機構の性質上、動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが正常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度の調整、機能チェック、消耗部品の交換などが大切です。
特に、お買い上げ後３～４年目の分解掃除による点検調整（オーバーホール）を行うことが、長く使用するために重要です。
オーバーホールは、お買い上げ店を通じてご用命ください。その際にはパッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。

- その他わからない点がございましたら、下記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。

セイコーウオッチ（株）お客様相談室
グランドセイコー専用フリーダイヤル　0120 － 302 － 617
受付時間：月曜～金曜　9:30 ～ 21:00　土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 17:30

■こんなときは

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
時計の止まり	時計が止まっている	ぜんまいの巻き上げがされていない	りゅうずを回してぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせてご使用ください。携帯中や時計をはずす際は、パワーリザーブ表示の針を確認し、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。	P.12 P.15
	パワーリザーブ表示の残量があるのに時計が止まった	低温下（0℃以下）に放置した	りゅうずを回してぜんまいを巻き上げてください。低温下（0℃以下）では、パワーリザーブ表示が「１／6」以下になると時計が止まることがあります。	P.12
時刻日付のずれ	時計が一時的に進む／遅れる	暑いところ、または寒いところへ放置した	常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせてください。この時計は気温5℃～35℃で腕に着けたときに、安定した時間精度が得られるように調整してあります。	P.15
		磁気を発生するもののそばに置いた	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせてください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	P.15 P.28
		落とした、強くぶつけた、または激しいスポーツをしたなど、強い衝撃や振動が加えられた	時刻を合わせてください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	P.15
	日付が日中に変わる	時刻が１２時間ずれている	時刻合わせで、りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前０時です。午前・午後を確認して、時刻を合わせてください。	P.15

■こんなときは

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
パワーリザーブ	毎日使用しているが、パワーリザーブ表示が上がらない	携帯する時間が少ない、あるいは、腕の動きが少ない	携帯する時間を長くしてください。 または、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げてください。	P.11
その他	止まっている時計を駆動させた直後、時刻合わせをしたら、秒針の運針が早く見えた	動きはじめのときは調速機構がはたらくまで、やや時間がかかります。(故障ではありません)	調速機構がはたらくまでに数秒間かかります。 より正確に時刻を合わせるには、３０秒間ほど秒針が動いてから操作を行ってください。	P.21
	ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った	お買い上げ店にご相談ください。	―

※ この他の現象についてはお買い上げ店、または弊社お客様相談室にご相談ください。

■製品仕様

1. 基本機能 ······ ３針 (時・分・秒)、日付表示、パワーリザーブ表示
2. 水晶振動数 ···· ３２,７６８Ｈｚ
3. 精 度·········· 平均月差 ±１５秒以内 (日差±１秒相当)
   ※ 気温5℃～３５℃において腕に着けた場合
4. 作動温度範囲 ·· −１０℃～＋６０℃
   ※ 低温下 (０℃以下) では、パワーリザーブ表示が１／６以上の状態でご使用ください。
5. 駆動方式 ······ ぜんまい巻 ＜自動巻 (手巻つき) ＞
6. 運針方式 ······ スイープ運針
7. 持続時間 ······ 約７２時間 (約３日間)
   (パワーリザーブ表示がフル巻き上げの場合)
   ※ 使用環境により、持続時間が短くなる可能性があります。
8. 電子回路 ······ 発振・分周・スプリングドライブ制御回路 (C-MOS-IC) ：1個
9. 使用石数 ······ ３０石

※ 仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

CONTENTS

■ CHARACTERISTICS ······ 45
■ PRECAUTIONS FOR USE ······ 46
■ NAMES OF THE PARTS AND THEIR FUNCTION ······ 48
Basic mechanism ······ 48
Crown ······ 49
Screw lock type crown ······ 50
■ HOW TO WIND THE MAINSPRING ······ 51
Guide for winding state of the mainspring ······ 51
How to manually wind the mainspring by turning the crown ······ 52
■ POWER RESERVE INDICATOR ······ 53
How to read the power reserve indicator ······ 54
■ TO SET THE DATE AND TIME ······ 55
How to set the date and time ······ 55
Calendar adjustment ······ 59
Tips for more accurate time setting ······ 61
■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH ······ 62
Performance and caliber of your watch ······ 63
Water resistance ······ 64
Magnetic resistance (affect of magnetic field) ······ 68
Magnetized items that may affect watches ······ 69
Band ······ 70
LumiBrite ······ 72
■ AFTER-SALE SERVICES ······ 73
Replacement parts ······ 74
Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) ······ 75
■ TROUBLESHOOTING ······ 76
■ SPECIFICATIONS ······ 80

Thank you for purchasing our Grand Seiko product. For more than 100 years of timepiece making tradition and the advancement of world-class technology, SEIKO has devoted its efforts to watch manufacturing and inspections. In order to maintain superior performance and proper and safe use of the Grand Seiko, please read the instruction manual carefully before use. We thank you in advance for long-time regular use of our product.
Keep this manual handy for easy reference as necessary.

※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

■ CHARACTERISTICS

Spring Drive, the unique mechanism made available only by SEIKO technology, ensures quartz accuracy while using the unwinding power of the mainspring as its sole power source.
In addition to the self-winding mechanism, which uses the natural motion of the wearer's arm as a power source to wind its mainspring, the watch is equipped with the manual winding mechanism, which is convenient to wind the mainspring when you start using the watch.
The watch keeps working for approximately 72 hours (three days) when the mainspring is fully wound.
The watch features the power reserve indicator to show the winding state of the mainspring (the amount of the remaining power).
The glide-motion second hand that moves around the dial in a perfectly smooth movement is one of the remarkable features of this watch.

※ For the details of the Spring Drive mechanism, refer to the separate volume "Spring Drive Handbook".

※ Spring Drive works by the power provided by the mainspring. Remember to check the power reserve indicator and keep the mainspring of the watch sufficiently wound while using the watch. ⇒ "POWER RESERVE INDICATOR" on page 53.

■ PRECAUTIONS FOR USE

⚠WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

・Immediately stop wearing the watch in following cases.
- ○ If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
- ○ If the pins protrude from the band

・Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.
Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories.
If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.

※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

⚠CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

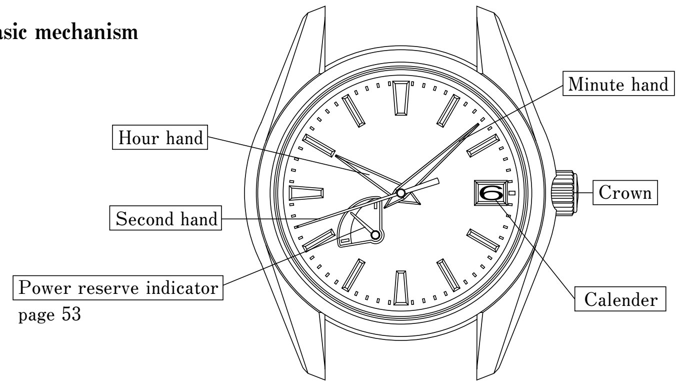
・Avoid wearing or storing the watch in the following places.
- ○ Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
- ○ Places where the temperature drops below 5℃ or rises above 35℃ for a long time
- ○ Places of high humidity
- ○ Places affected by strong magnetism or static electricity
- ○ Dusty places
- ○ Places affected by strong vibrations

・If you observe any allergic symptoms or skin irritation
Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.

・Other cautions
- ○ Do not disassemble or tamper with the watch.
- ○ Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

■ NAMES OF THE PARTS AND THEIR FUNCTION

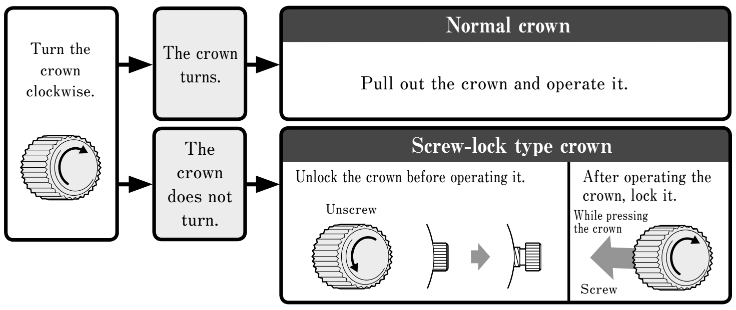
● Basic mechanism



※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.
※ Some models may have screw lock type crown.
Refer to "SCREW LOCK TYPE CROWN" on page 50.

■ Crown

There are two types of crowns, a normal crown and a screw-lock crown.
Check the crown on your watch.

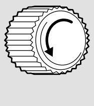


※ Refer to "SCREW LOCK TYPE CROWN" on page 50.

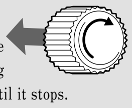
● Screw lock type crown

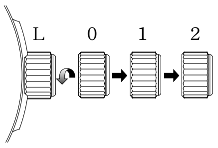
The watch features a screw-lock mechanism that can securely lock the crown when it is not being operated in order to prevent any operational errors.
※ It is necessary to unlock the screw lock type crown before operating it.
※ In order to prevent any operational errors from occurring, once you have finished operating the crown, make sure to relock it.

<u>To unlock the crown</u>
Turn the crown counterclockwise (downward) to unscrew it. Now the crown can be operated.



<u>To lock the crown</u>
Turn the crown clockwise (upward) while gently pressing it in toward the watch body until it stops.





- L : Crown at the locked position
- 0 : Crown unlocked at the 0 position for manual winding of the mainspring
- 1 : First click position for date setting
- 2 : Second click position for time setting

⚠CAUTION

When locking the crown, turn it slowly with care, ensuring that the screw is properly engaged.
Be careful not to forcibly push it in, as doing so may damage the screw hole in the case.

■ HOW TO WIND THE MAINSPRING

This watch is a self-winding watch equipped with a manual winding mechanism. When the watch is worn on the wrist, the motion of your arm automatically winds the mainspring of the watch.

※ Observe the power reserve indicator to check the amount of the remaining power.
⇒ ■ “POWER RESERVE INDICATOR” page 53

※ When first using the stopped watch, it is recommended that you manually wind the mainspring by turning the crown.

● Guide for winding state of the mainspring

Self-winding : The mainspring of the watch is designed to be fully wound when it is worn for twelve hours per day for three to five consecutive days.
Manual winding : Five full rotations of the crown will provide the power to run the watch for approximately ten hours.

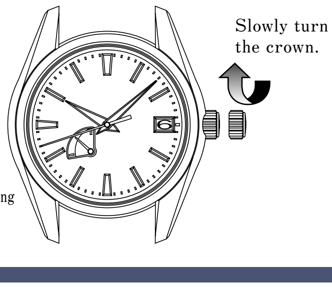
⚠CAUTION

※ The watch employs a device to prevent overwinding of the mainspring. Once the mainspring is fully wound, the mainspring slips inside, disengaging the winding mechanism. When this happens, you can still turn the crown without damaging the watch, however, please refrain from excessive operation of the mainspring.

● How to manually wind the mainspring by turning the crown

1. When the crown is a screw lock type, unlock it.
⇒ ● “Screw lock type crown” page 50

2. <u>Slowly turn</u> the crown clockwise (upward) to wind the mainspring with extra care <u>not to press it in</u>. Wind the mainspring until the power reserve indicator shows <u>a full-wound state</u>. Immediately, the second hand starts moving.
⇒ ● “How to read the power reserve indicator” page 54



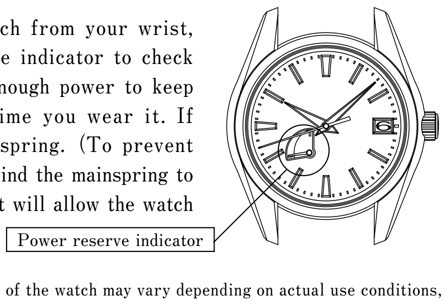
3. Once you finish winding the mainspring, make sure you relock the crown when the crown is a screw lock type.

In order to set the time and date after winding the mainspring manually, do not relock the crown but continue the procedures.
⇒ ● “How to set the date and time” page 55

■ POWER RESERVE INDICATOR

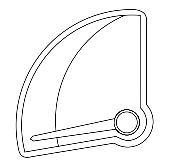
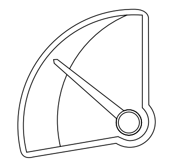
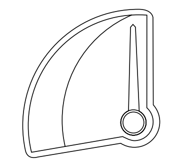
The power reserve indicator lets you know the winding state of the mainspring (the amount of the remaining power).

Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to check if the watch has stored enough power to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring. (To prevent the watch from stopping, wind the mainspring to store the excess power that will allow the watch to run for extra time.)



※ The continuous operable time of the watch may vary depending on actual use conditions, such as the number of hours you wear the watch or the extent of your movement while wearing it.
※ In a case where you wear the watch for a short period of time each day, observe the power reserve indicator to check the level of the remaining power. If necessary, manually wind the mainspring.

● How to read the power reserve indicator

Power Reserve Indicator			
Winding state of the mainspring	Fully wound	Half wound	Unwound
Number of hours the watch can run	Approximately 72 hours（3 days）	Approximately 36 hours（1.5 days）	The watch either stops or is running down.

※ Under a low-temperature condition（below 0℃）, always keep at least one-sixth of the power reserve shown by the power reserve indicator.

■ TO SET THE DATE AND TIME

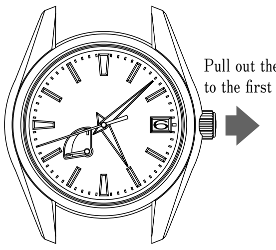
● How to set the date and time

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.
   ※ When setting the date and time, ensure that the watch is working.

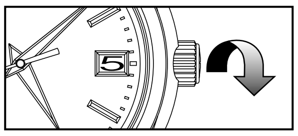
2. When the crown is a screw lock type, unlock it.
   ⇒ ●“Screw lock type crown” page 50

3. While the watch hands show any time between 9:00 PM and 1:00 AM, pull out the crown to the second click, and turn it counterclockwise（downward） to temporarily <u>advance the hands to show any time after 1:00 AM.</u>
   ※ This procedure is required to ensure the proper engagement of the calendar driving wheel.
   ※ Each time the hour hand makes two full rotations, the date is adjusted for one day. While turning the crown, the moment the date changes is midnight. When setting the hour hand, be sure that AM/PM is set correctly.

4. Pull out the crown to the first click.（The second hand continues moving.）

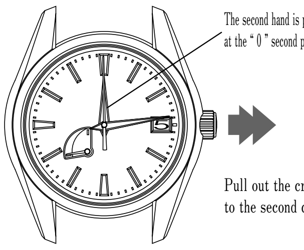


5. Turn the crown counterclockwise（downward） to set the date to the <u>previous date</u>.
   ※ Turning the crown clockwise（upward） will not move the date.

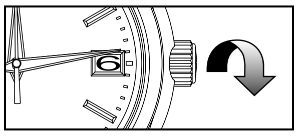


Example: When you wish to set the date to the sixth, set to the fifth at this point.

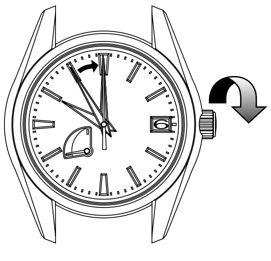
6. Pull out the crown to the second click when the second hand is pointing at the “ 0 ” second position. The second hand will stop on the spot.



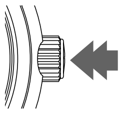
7. Advance the time until the watch shows the date you wish to set by turning the crown counterclockwise（downward） and rotating the watch hands clockwise.
   ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.



8. Next, set the time.
   Slowly advance the minute hand to the time you wish to set.
   ※ Each time the hour hand makes two full rotations, the date is adjusted for one day. While turning the crown, the moment the date changes is midnight. When setting the hour hand, be sure that AM/PM is set correctly.



9. Push the crown back in simultaneously with the time signal.
   The settings are now completed.
   When the crown is a screw lock type, lock it.
   ⇒ ●“Screw lock type crown” page 50



● Calendar adjustment

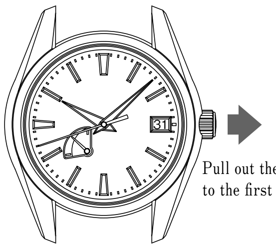
The watch is designed to display the date from the 1st to 31st every month, so that the manual calendar adjustment is required on the first day after a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.
   ※ When setting the date and time, ensure that the watch is working.

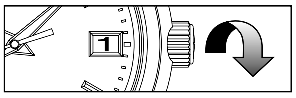
2. When the crown is a screw lock type, unlock it.
   ⇒ ●“Screw lock type crown” page 50

3. While the watch hands show any time between 9:00 PM and 1:00 AM, pull out the crown to the second click, and turn it counterclockwise（downward） to temporarily <u>advance the hands to show any time after 1:00 AM.</u>
   ※ This procedure is required to ensure the proper engagement of the calendar driving wheel.
   ※ Each time the hour hand makes two full rotations, the date is adjusted for one day. While turning the crown, the moment the date changes is midnight. When setting the hour hand, be sure that AM/PM is set correctly.

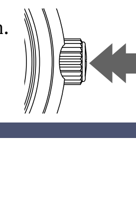
4. Pull out the crown to the first click.
   （The second hand continues moving.）



5. Turn the crown counterclockwise（downward） to set the date.
   ※ Turning the crown clockwise（upward） will not move the date.



6. Upon completion of the setting, push the crown back in.
   The calendar adjustment is now completed.
   When the crown is a screw lock type, lock it.
   ⇒ ●“Screw lock type crown” page 50



● Tips for more accurate time setting

Keep in mind the following points in order to set the time more accurately.

- Before setting the time, wind the mainspring sufficiently.
  （Ensure that the power reserve indicator is showing a full-wound state.）
- When starting to use a stopped watch, wind the mainspring sufficiently. To set the time after that, wait for approximately 30 seconds after the second hand starts to move, then pull the crown out to the second click.
- The second hand will stop moving while the crown is at the second click position. Try not to stop the second hand movement for longer than 30 minutes. If it is necessary to remain holding the crown at the second click position for longer than 30 minutes, push the crown back in once, and wait for at least 30 seconds after the second hand restarts moving, and then pull out the crown to the second click again to resume time setting.

62

■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

The watch needs frequent attention.

・Wipe away moisture, sweat or dirt frequently with a soft dry cloth.
To clean the clearances (around the metallic band, crown, case back or rotating bezel), a soft toothbrush is convenient.

・After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.

Turn the crown from time to time

・In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.

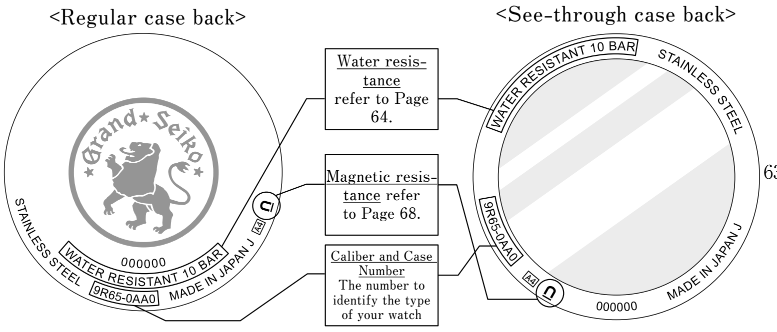
・The same practice should be applied to a screw lock type crown.
⇒ ● "Screw lock type crown" page 50

63

● Performance and caliber of your watch

The case back shows the caliber and performance of your watch

<Regular case back> <See-through case back>



※ The above figures are examples. Both of them may be different from the figure on the case back of your watch.

64

● Water resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.
(Refer to "page 63")

Indication on the case back	Water resistant performance
No indication	Non-water resistance
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.

65

Condition of use	
Avoid drops of water or sweat	
The watch withstands accidental contact with water in everyday life.	⚠ WARNING Not suitable for swimming
The watch is suitable for sports such as swimming.	
The watch is suitable for diving not using an air cylinder.	

66

⚠WARNING

Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

⚠CAUTION

Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTMER SERVICE CENTER (listed on the end of a book).

67

⚠CAUTION

Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.
Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.

Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

Do not pour running water directly from faucet.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

68

● Magnetic resistance (affect of magnetic field)

・Grand Seiko Spring Drive conform to the Magnetic Resistance Standard of JIS Class 1. The watch has magnetic resistance to maintain performance in most cases even where it is brought close to (at least 5cm spaced from) equipment generating a magnetic field in normal life. However, the movement parts are magnetized when they encounter a strong magnetic field, thereby accuracy may go out of order. Pay attention so as not to bring the watch close to equipments generating a strong magnetic field within 5cm.

Classification of JIS antimagnetic watches	Certified level of magnetic resistance	Indication of antimagnetism (on the case back)	Antimagnetic quality
Class 1	4800A/m	∩	The watch has magnetic resistance to maintain performance in most cases where it is brought close to (at least 5cm spaced from) equipment generating a magnetic field in normal life.

・If the accuracy exceeds the accuracy target range (± 15 seconds/month) during normal usage due to magnetization, removal of magnetism and accuracy readjustment works are charged regardless of the guarantee period.

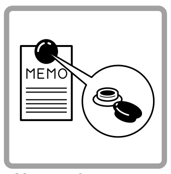
⚠CAUTION

Keep the watch more than 5 cm away from magnetized products.

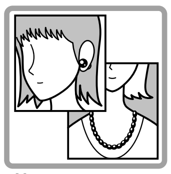
69

● Magnetized items that may affect watches

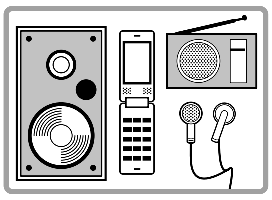
・Examples of common items that generate a magnetic field



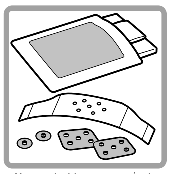
・Magnetic clips



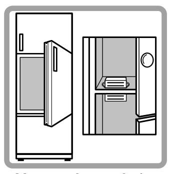
・Magnetic accessories



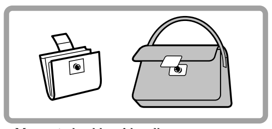
・Speaker of audio instruments, radios, ear-phones, or mobile phone etc.



・Magnetic health equipments (such as magnetic plasters, magnetic pillows, magnetic back belts etc.)



・Magnetic door seal of refrigerator or furniture



・Magnetic buckle of handbags or purses

● Band

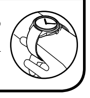
The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust.
Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
- Even if the band is a titanium band, stainless steel with a superior strength may be used for the pins and rust may occur on the stainless pins.
- If rust becomes severe, the pins may stick out or come out of the band, causing the watch to fall off. Or the clasp may become difficult to be unfastned.
- Should the pins stick out of the band, it may cause injury. Immediately stop using the watch and request repair.

Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10-BAR water resistant) .

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band with a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. Make a room for one finger around your wrist when you wear the watch. 

● LumiBrite

If your watch has Lumibrite

LumiBrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance. LumiBrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.
Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

＜Reference data on the luminance＞

Environment		Indication of brightness (luminance)
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoor (Window-side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weather	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	1m	1,000 lux
	3m	500 lux (average room luminance)
	4m	250 lux

■ AFTER-SALE SERVICES

- Your Grand Seiko watch was strictly checked and completely adjusted at the factory to ensure its high accuracy. However, if your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the retailer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee. Repair and adjustment will be made without charge.
- The guarantee period and detailed guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee.
- For repair services after the guarantee period has expired or for any other information regarding the Grand Seiko, please contact the retailer from whom your watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

● Replacement parts

- SEIKO makes it policy to usually keep a stock of spare parts for GRAND SEIKO watches for 10 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be replaced with substitutes if the originals are not available.
- If you have any questions, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

●Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) of this watch will be performed by SEIKO. When you take the watch to the retailer from whom it was purchased, request that the watch be inspected and overhauled by SEIKO.
We suggest that you have your watch checked by SEIKO every 3 to 4 years for long-time use of your watch.

※ The movement of this watch has a structure that consistent pressure is applied on its power-transmitting wheels. To ensure these parts work together properly, periodic inspection including cleaning of parts and movement, oiling, adjustment of accuracy, functional check and replacement of worn parts is needed.

Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) within 3 to 4 years from the date of purchase is highly recommended for long-time use of your watch.
Contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) of your watch. Make sure that the gasket and push pin will be also replaced with new ones.

- For any questions or concerns, contact the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

■ TROUBLESHOOTING

Troubles		Possible causes	Solutions	Reference pages
Stoppage of the watch	The watch stops operating.	The mainspring has not been wound.	Turn the crown to wind the mainspring and reset the time. While you are wearing the watch or when you take it off, check the remaining power shown by the power reserve indicator and wind the mainspring if necessary.	Page 52 Page 55
	The watch stops even though the power reserve indicator is not showing "0."	The watch has been left at a low temperature (below 0°C).	Turn the crown to wind the mainspring and reset the time. If the watch is left at a temperature below 0 ℃, it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth of the power reserve.	Page 52
Wrong display of the time and/or date	The watch temporarily gains or loses time.	The watch has been left at an extremely high or low temperature.	Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5 ℃ and 35 ℃.	Page 55
		The watch has been left close to an object generating a strong magnetic field.	Correct this condition by moving and keeping the watch away from the magnetic source. If this action does not correct the condition, contact the retailer from whom the watch was purchased.	Page 55 Page 68
		You dropped the watch, hit it against a hard surface or wore it while playing active sports. The watch was exposed to strong vibrations.	Reset the time. If the watch does not return to its normal accuracy after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.	Page 55
	The date changes during daytime.	AM/PM is not correctly set.	While turning the crown to set the time, the moment the date changes is midnight. Reset the time making sure that AM/PM is set correctly.	Page 55

■ TROUBLESHOOTING

Troubles		Possible causes	Solutions	Reference pages
Power reserve	Even though you wear the watch every day, the power reserve indicator does not move up.	The watch is worn on your wrist only for a short period of time, or the amount of arm movement is small.	Wear the watch for an extended period of time. Or turn the crown to wind the mainspring.	Page 51
Others	Right after starting the watch, it seems that the second hand moves more quickly than usual when setting the time.	When starting the watch, it takes a little time before the adjustment function starts working. (This is not a malfunction.)	It takes several seconds before the adjustment function starts working. Set the time after the second hand moves for approximately 30 seconds to set the time correctly.	Page 61
	Blur on the dial glass persists.	Small amount of water has got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.	—

※ In the event of any other problem, please contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

■ SPECIFICATIONS

1. Features: 3 hands (hour, minute and second hands), Date display, Power reserve indicator
2. Frequency of crystal oscillator: 32,768 Hz
3. Loss/gain (monthly average): ± 15 seconds (± 1 second per day) (worn on your wrist at normal temperature range between 5 °C and 35 °C)
4. Operational temperature range: between -10 °C and +60 °C
   Under a low-temperature condition (below 0°C), always keep at least one sixth of the watch power shown by the power reserve indicator.

5. Driving System:‥ Mainspring (Self-winding type with manual winding function)
6. Hand movement:‥ Glide-motion hands
7. Continuous operable time: Approx. 72 hours (Approx. 3 days) (If the power reserve indicator shows the power supplied by the mainspring is full before starting the watch.)
   ※ Depending on conditions of use, the continuous operable time may become shorter than the above.
8. IC (Integrated Circuit): Oscillator, frequency divider, and spring drive control circuit (C-MOS-IC): 1 piece
9. Number of jewels: 30 jewels

※ The specifications are subject to change without prior notice due to product improvements.

グランドセイコー専用フリーダイヤル
0120−302−617

受付時間：月曜〜金曜　9:30 〜 21:00
土曜・日曜・祝日　9:30 〜 17:30

お客様相談室
〒 100-0005　東京都千代田区丸の内 3-1-1　国際ビル
〒 550-0013　大阪市西区新町 1-4-24　大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウオッチ株式会社
本 社　〒 105-8467　東京都港区芝浦 1-2-1
http://www.seiko-watch.co.jp/